

技術士(金属部門)受験のすすめ

公益社団法人日本技術士会 中国本部
広報委員会 委員技術士(金属部門)

川本 明人

1. はじめに

まてりあの読者の皆様、国家資格「技術士」をご存知でしょうか。技術士は博士号に比べて社会的認知が低く、どのような資格なのかと疑問に思われる方々が多いのではないのでしょうか。私が技術士を知ったのは50歳の頃で、受験勉強を通してその活動内容を知りました。日本は欧米のような技術専門職(Professional Engineer)の資格社会ではなく、理工系高等教育機関を修了すれば技術者として認知される社会です。しかし、近年国際社会で活躍するには技術専門職の公的資格の保有が必要条件になりつつあり、国際的な技術者資格の一つとして技術士があります。

本稿では技術士試験制度の概要及び技術士試験の勉強法について紹介します。

2. 技術士試験制度の概要⁽¹⁾

技術士とは「登録を受け、技術士の名称を用いて、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価またはこれらに関する指導の業務を行う者(技術士法第2条)」と定義され、国家(文部科学省管轄)が技術専門職として保証した社会的に信用の高い資格(名称独占資格)と言えます。

表1に技術士試験制度の概要を示します。技術士試験は技術士として相応しい資質能力を評価・認定する試験です。受験資格に年齢、学歴、業務経験などの制限はありませんが、大学エンジニアリング課程修了者が望ましいです。JABEE(日本技術者教育認定機構)課程修了者は第一次試験が免除されます(技術士法第31条)。

第一次試験は科学技術全般にわたる基礎知識や技術士法第4章(技術士等の義務)の遵守に関する適性、技術部門に係る基礎知識及び専門知識について試されます。第一次試験合格者は修習技術者となり、科学技術に関する業務に所定期間(通常7年を超える期間)従事すると第二次試験の受験資格が得られます(技術士法第6条)。第二次試験は筆記試験及び口頭試験からなります。筆記試験では専門的学識及び専門的応用能力(論理的考察力、問題解決力など)が試され、面接試験では技術士として相応しい業務経験及び技術士としての適格性が試されます。第二次試験合格者は技術士となる資格を有し、指定登録機関(公益社団法人日本技術士会)に登録申請し登録手続きが完了すると技術士となります。現在、文部科学省の技術士分工会・制度検討特別委員会では技術士受験制度の見直しを審議しており、平成31年度から二次試験内容が変更される予定です。詳細は受験申込み時に試験内容を公益社団法人日本技術士会のホームページ⁽¹⁾で確認して下さい。

表1 技術士試験制度の概要。

試験	科目	問題の種類	合否基準
第一次試験 (択一式)	基礎科目	科学技術全般にわたる基礎知識を問う問題	全科目50%以上の得点
	適性科目	技術士法第四章(技術士等の義務)の規定の遵守に関する適性を問う問題	
	専門科目	技術部門に係る基礎知識および専門知識を問う問題	
第二次試験 (筆記試験)	必須科目	技術部門全般にわたる専門知識を問う問題	全科目60点以上の得点
	選択科目	選択科目に関する専門知識、応用能力および課題解決能力を問う問題	
第二次試験 (口頭試験)	—	技術部門に関する経歴内容および応用能力を問う問題、技術士としての適格性および一般知識(技術者倫理、技術士制度の認識その他)を問う問題	問題事項別60点以上の得点

3. 技術士試験の勉強法

技術士資格取得には準備と努力が必要です。最短合格の早道は良い受験参考書⁽²⁾、積極的な情報収集及び受験指導実績のある技術士の受験指導を受けることです。資格取得は長丁場(最短2年)であるため、受験勉強のモチベーション維持が決め手となります。独学よりも受験者コミュニティの仲間と情報交換や技術論文の相互添削などの共学がよいと思います。おすすめの技術士受験を応援するコミュニティがSUKIYAKI塾です。毎年、有料個人受験指導講座や全国各地で受験セミナーを開催していますので詳細はホームページ⁽³⁾で確認して下さい。また、日本技術士会の地域本部や県支部がある所にお住まいの読者であれば、直接訪問し受験支援に関する相談をされるのもよいかと思います。なお、受験初心者は技術士法と技術者倫理の科目が弱点とされますので受験参考書及び過去問で理解を深めて下さい。

4. 結 言

技術士(金属部門)取得への挑戦(受験)を思い立った読者はさっそく準備を始めてみてはいかがでしょうか。受験経験として技術士活動を通して、技術専門職の資質能力の向上が図れるとともに、異部門・異業種の技術士仲間との人脈を築くことができます。将来、技術士コミュニティの仲間となり活躍されることを期待します。

末筆ながら、技術士受験に関する記事の執筆の機会をご提供頂きました日本金属学会関係者の皆様に感謝致します。

文 献

- (1) 公益社団法人日本技術士会：<https://www.engineer.or.jp/>
- (2) 例えば、高橋政治、佐藤智幸、上野英生、佐藤彰洋、小柳拓央、村山 肇、藤田善宏、佐野照晃：技術士試験「金属部門」受験必修テキスト 第2版、日刊工業新聞社、(2014)。
- (3) 技術士受験を応援するページ SUKIYAKI 塾：<http://www.pejp.net/pe/>
(2017年12月7日受理)[doi:10.2320/materia.57.78]
(連絡先：広島市中区鉄砲町 1-20)